

数学科 7学年 評価計画

内容のまとめり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
目標				
正負の数	次のような知識及び技能を身に付けること。 ・正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。 ・正の数と負の数の四則計算をすること。 ・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。	次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ・算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。	・正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。	
	評価規準			
	・正の数と負の数の必要性と意味を理解している。 ・正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。	・算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。	・正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	
	評価方法			
・定期考査 ・単元別テスト など	・定期考査 ・単元別テスト など	・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など		

文字と式	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることの必要性と意味を理解すること。 ・文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。 ・簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。 ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。 	<p>次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることの必要性と意味を理解している。 ・文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。 ・簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など 	

方程式	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。 ・簡単な一元一次方程式を解くこと。 	<p>次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。 ・一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ・簡単な一元一次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
	評価方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など 	
比例と反比例	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味を理解すること。 ・比例、反比例について理解すること。 ・座標の意味を理解すること。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。 	<p>次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味を理解している。 ・比例、反比例について理解している。 ・座標の意味を理解している。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
	評価方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など 	

平面図形	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。 ・平行移動，対称移動及び回転移動について理解すること。 	<p>次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質に着目し，基本的な作図の方法を考察し表現すること。 ・図形の移動に着目し，二つの図形の関係について考察し表現すること。 ・基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え，平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度，作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> ・角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・平行移動，対称移動及び回転移動について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質に着目し，基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動に着目し，二つの図形の関係について考察し表現することができる。 ・基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え，平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など 	

空間図形	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を知ること。 扇形の弧の長さや面積，基本的な柱体や錐体，球の表面積と体積を求めること。 	<p>次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付けて粘り強く考え，空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度，空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を知っている。 扇形の弧の長さや面積，基本的な柱体や錐体，球の表面積と体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付けて粘り強く考え，空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 提出物 振り返りシート など 	

データの分析と活用	目標		
	<p>次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解すること。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解すること。 	<p>次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを収集して分析し、その一々の分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。 ・多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。
	評価規準		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・振り返りシート など 	